

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年3月3日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	マツダロジスティクス株式会社
所在地	〒734-0032 広島県広島市南区楠那町3番19号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 加藤 拓弥
担当者連絡先	電話：082-251-3283
	メール： <a href="mailto:fujihara.yu@mazdalogi.co.jp">fujihara.yu@mazdalogi.co.jp</a>
ウェブサイトURL	<a href="https://www.mazdalogi.co.jp/">https://www.mazdalogi.co.jp/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は大正11年に戸田回漕店として創業し、現在では、マツダグループの一員として、陸・海・空をつなぎ、陸上輸送サービス、海上輸送サービス、航空貨物サービス、港湾サービス、輸出入サービス、梱包サービスなどを提供する総合一貫物流企業として、お客様からの多種多様なニーズに応え続けることができるよう努めております。</p> <p>港湾サービスでは、広島港、防府中関港を中心として、国内と海外との物流を円滑に結ぶため、完成車及びコンテナの船内荷役作業、倉庫保管サービスやCTオペレーション業務等を提供しています。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ジェンダー平等の実現にむけ、女性もイキイキと活躍できる職場づくり	係長以上の女性管理者数 【目標】 倍増 (2020年度比)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	貨物量に応じた、高効率な内航コンテナフィーダー船運航への取り組み	運航船舶数 【目標】 10%削減 (2022年度比)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地域行政と連携した、港湾運送に関わる社会見学の受け入れ	社会見学受け入れ回数 【目標】 8回/年 【現状】 2回/年

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	階層別の人権研修の実施 公正な採用選考の実施 人権週間に合わせた社長メッセージの発信 管理監督者向けの研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	2003年 人権侵害撤廃規則の制定し人権侵害を禁止する旨を宣言 ・社内に人権侵害相談窓口を設置 ・社内に女性相談窓口を設置 ・外部相談窓口 ほっとラインの設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法改正等、労使での情報共有の実施 労使専門委員会による時間外実績の共有 有休取得状況の促進と実績の把握 在宅勤務の導入 RPAの導入等による業務改善 勤務管理システムによる管理 (アラート機能あり)								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	歩車分離活動への取り組み リスクアセスメント活動の推進 協力会社との合同安全巡視			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・従業員へのストレスチェック ・ストレス職場への改善支援 (高ストレス者への個人面談、高ストレス職場への支援) ・ストレスチェック結果に基づくメンタルヘルス教育検討・実施 ・健康啓発活動 (ヘルスアップ通信の全社配信)																	
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材 (女性、外国人、障がい者、高齢者等) が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	くるみん認定 育児・介護休業を取得しやすい環境の整備 ・勤務時間短縮、フレックス勤務、時差勤務、時間外労働の免除 在宅勤務の導入 リフレッシュ休暇制度 2022年10月1日現在 障害者雇用率 2.49%					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各階層別教育の実施 外部研修・通信教育の推奨 (評価制度に反映) 港湾運送事業に関連する業務資格、研修受講の推進					4	5.5		8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している							5.5		8.5		10.2 10.3							



